

海外安全対策情報
(2016 年 10 月～12 月)

在ラスパルマス領事事務所

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪発生状況

スペイン内務省が発表した 2016 年 1 月から 12 月の一般犯罪統計によると、カナリア自治州における総犯罪件数は 8 万 8,870 件で前年同時期に比べ 0.7%減少した。特徴としては、2015 年と比べ、特に住宅・車両侵入窃盗件数と薬物犯罪がそれぞれ 5.2%、5.3%と大幅に増加したことが挙げられる。又、スリ・置き引き等の軽微な窃盗も 2.5%増加した。

犯罪種別の内訳(件数)

窃盗 (スリ・置き引き等)	30,994 (前年比 2.5%増)
強盗 (暴力や脅迫を伴う窃盗)	1,539 (同 0.6%増)
(住宅・車両侵入窃盗)	3,573 (同 5.2%増)
(自動車・バイク窃盗)	1,609 (同 4.1%減)
薬物犯罪	599 (同 5.3%増)
傷害	7,247 (同 1.1%増)
殺人	21 (同 5.0%増)

(2) 県別状況

県別に見ると、ラスパルマス県では自動車・バイク窃盗が 11.6%減少。反対に薬物犯罪が 9.3%増加した。サンタクルスデテネリフェ県では、住宅・車両侵入窃盗、スリ・置き引き等の軽微な窃盗と自動車・バイク窃盗がそれぞれ 6.0%、5.8%、4.3%増加した。

一方、全体で見ると、カナリア自治州 2 県都共に、ラスパルマスデグランカナリア市では犯罪件数合計が 4.7%、サンタクルスデテネリフェ市が 7.7%の減少となった。

(3) 薬物密輸摘発事案

10 月：サンタクルスデテネリフェ県治安警備隊 ED0A (組織犯罪・麻薬取締班)は、“アダネグラ作戦”と呼ばれる捜査で、米の麻薬取締局 (DEA) とブラジル警察の協力を得て、カナリア自治州で“運び屋”によるヘロインとコカインの密輸に携わっていた組織を摘発。ナイジェリア人 15 人、ルーマニア人 1 人の合計 16 人が逮捕された。同組織は、オランダ、ベルギー、ルーマニア、フランス、セネガル及びブラジルの各国と国内ではバレンシアとマドリッド両自治州の麻薬密輸と関係していた。

治安警備隊は、“モルフェオ作戦”と名づけられた捜査により、ナイジェリアとコロンビアから密輸されたヘロイン、使用量にして 26 万 6 千回分、コカイン 1 キロを押収。12 人を逮捕した。

11 月：国税庁、国家警察、治安警備隊の合同捜査により、カナリア自治州最大の麻薬密輸組織が摘発された。

組織は北ヨーロッパと東欧出身の幹部により管理され、ナイジェリア出身者たちを売買人に使い、テネリフェ島サンクリストバルデララグナ市タコ地区とエルカルドナル地区及び同島南部を拠点としていた。

逮捕者は 27 人。市場価格は 360 万ユーロ以上に上り、ヘロイン約 8 キロ、コカイン 13 キロ以上、5.5 トン近くの化学薬品が押収され、家宅や産業用倉庫 15 軒が捜査を受けた。

(3) 小船による不法移民の漂流

11 月：海上救助隊は、カナリア諸島グランカナリア島南沖 165 マイル地点で、モロッコの Cabo Bojador から出港したとされる小船（男性 41 人女性 16 人合計 57 人が乗船）を発見し救助した。

12 月：海上救助隊は、モロッコの Cabo Bojador から小船が出港したとの通報を受け、不法移民 67 人（男性 51 人、女性 16 人）を乗せた小船をグランカナリア島沖 140 マイル地点で発見し救助した。

(4) 邦人被害事案

特になし。

2 テロ・爆弾事件発生等の状況

12 月、治安警備隊は、マドリッドのアドルフォスアレス空港で、DAESH との関係が疑われるグランカナリア島サントルシアデティラハナ市ベシンダリオ地区居住のパレスチナ出身スペイン国籍の男を逮捕。治安警備隊は 2014 年から被疑者に対する捜査を行っていた。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していない。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。

以上